

経営比較分析表（令和3年度決算）

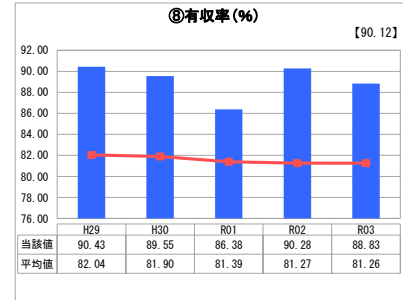
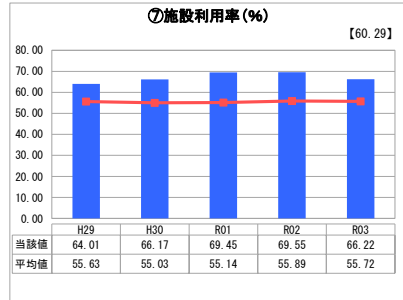
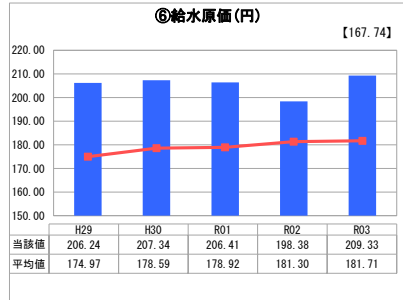
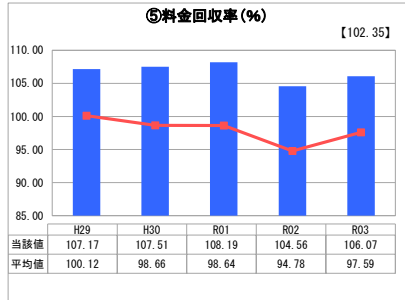
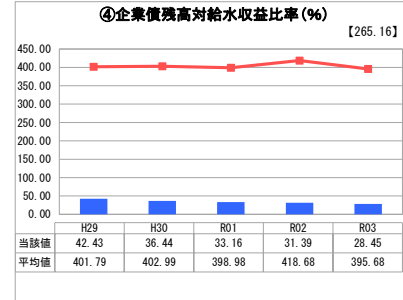
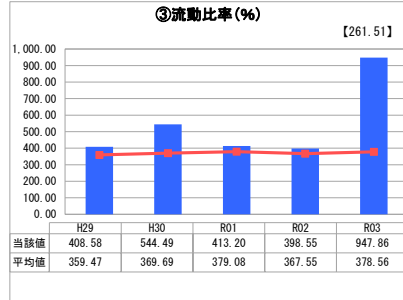
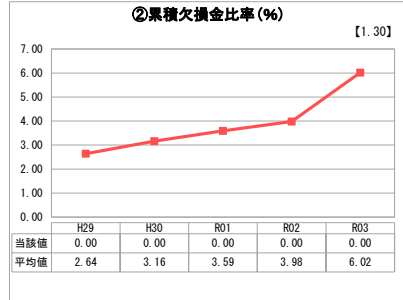
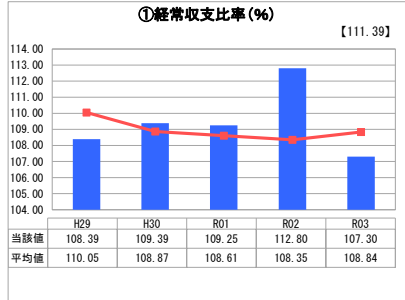
岐阜県 御嵩町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)	
-	96.33	99.66	4,158	

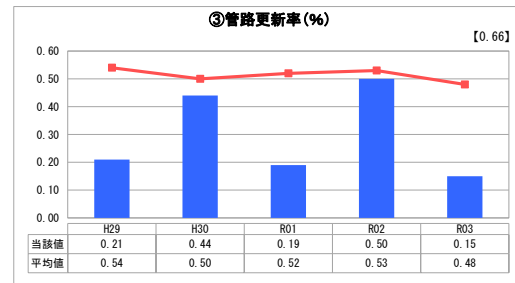
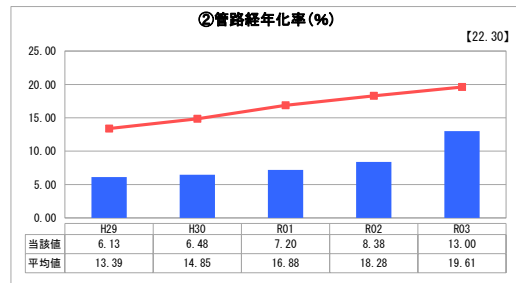
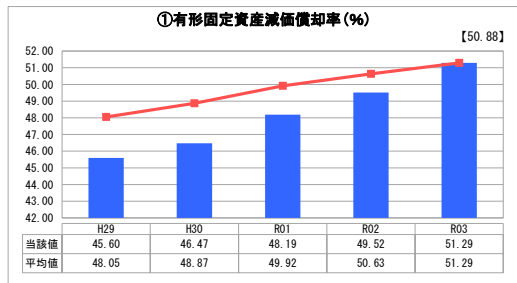
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
17,968	56.69	316.95
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
17,766	21.60	822.50

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【】 令和3年度全国平均	

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率
減価償却費の増加により減少しましたが、毎年100%を超えています。

②累積欠損金比率
累積欠損金が発生していないため0%となっています。

③流動比率
建設改良費の減少により大幅に増加しました。

④企業債残高対給水収益比率
新たに企業債の借入を行っておらず、年々減少傾向にあります。類似団体と比較しても低い状態です。

⑤料金回収率、⑥給水原価
給水単価が増加しましたが、料金回収率も増加しました。給水単価は類似団体平均値を上回っているため、より一層の経費削減を図る必要があります。

⑦施設利用率、⑧有収率
類似団体と比較して上回っていますが、今後も引き続き老朽管の布設替えの推進や漏水調査等の実施により、有収率の更なる向上に努めていく必要があります。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率、②管路経年率
平成26年度以降、新地方公営企業会計制度の適用に伴うみなし償却制度の廃止により年々増加しており、類似団体の平均値と比べて増加率も高くなっています。

③管路更新率
有形固定資産減価償却率及び管路経年率は今後も増加することが見込まれるため、計画的に管路の更新を進めていくことが必要になります。

全体総括

人口減少に伴い給水収益の減少が見込まれる一方で、老朽化した施設の維持管理費及び更新費用の増加が見込まれます。したがって、施設の更新とともに統廃合を進め、経費の削減に努めながら効率的な事業運営を進めていくことが必要となります。